

教育支援プログラム(A)

SEINAN
GAKUIN

取組名称	異文化に触れ、宗教と平和について学ぶ研修プロジェクト
取組学部等	神学部
取組期間	2020年度

取組概要

学生個人またはグループを国内外に派遣し、それぞれの現場で異文化に触れ、宗教を体験し、相互理解と共生による平和構築および宗教間対話のあり方について学ばせる。具体的には神学部が、ほぼ毎年参加しているプログラム（沖縄や韓国に学生を送り出すプログラム）、過去数年の恒例となっているミャンマーに学生を送るプログラム、ならびにしばらく交流がストップしていたタイに学生を送るプログラム等である。ミャンマーでは、ミャンマー・キリスト教神学校を訪問し、神学部が寄贈した英語の神学書の利用状況を確認する。それに加えて、今後のさらなる支援の可能性を探り、ミャンマーにおける仏教、イスラム教、ヒンドゥー教などといった多宗教社会におけるキリスト教宣教の現状を視察し、多文化共生のあり方について学ぶ。また、東アジア平和センター・福岡と協力して韓国済州島を訪れ、基地問題と取り組む非暴力の民衆運動のあり方、和解のための神学とその実践を学ぶ。タイでは、タイ・バプテスト神学校を訪問、神学生の修養会に参加し、児童養護施設で子どもたちと交流し、様々な教会の礼拝に出席、さらに仏教寺院を見学する。国内では、沖縄で、「キリスト教主義大学学生による沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い」に参加して、戦跡を巡り、現地の人々の証言を聞き、平和学の講義と学生同士のディスカッションを通して、平和構築の実践について研修する。